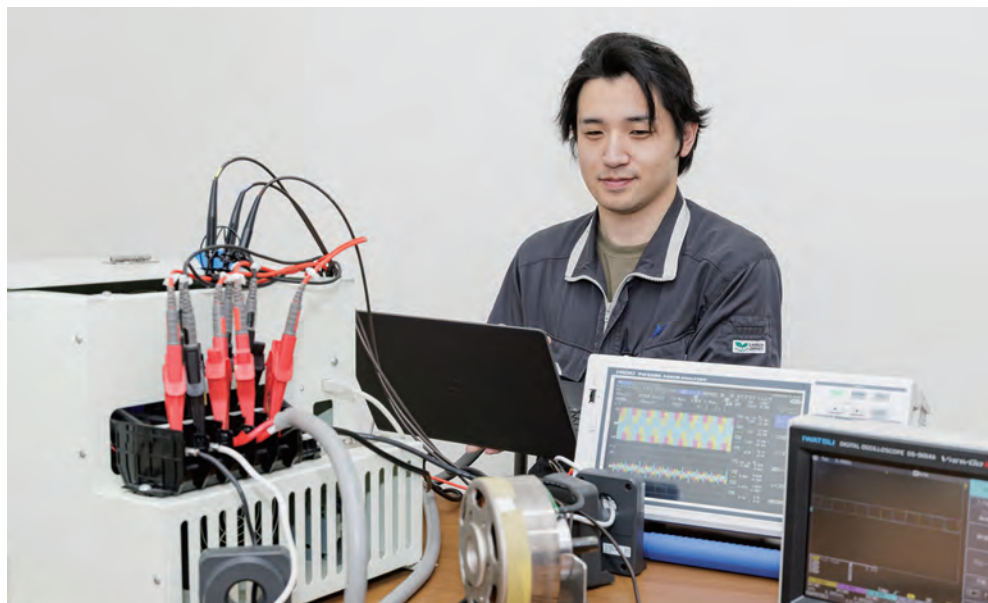


>> 横手精工 株式会社 秋田事業所

モーターの性能を極限まで引き出すインバーター開発



ほりうち かずひろ
技術開発部長 堀内 和弘

横手精工 株式会社 秋田事業所
〒010-1633 秋田市新屋島木町1-71
TEL:018-828-1122
FAX:018-828-2280
<https://yuri-hd.co.jp/yupi/>



HP

制御技術で次世代電動化の核心を担う

1955年の創業以来、電子部品の基板実装や高度な設計開発で信頼を重ねてきた横手精工株式会社。近年は世界的な需要拡大を背景に、半導体搬送装置の受注が急増するなど、時代の先端を支える強い事業基盤を誇る。

同社が秋田県の推進する電動化事業で重要な役割を担うのが、モーターの能力を最大限に引き出す「インバーター」の開発だ。どれほど高性能なモーターであっても、電力を最適に制御する装置がなければその真価を発揮することはできない。同社は早くから大手重工メーカーと150kW級の開発実績を積んでおり、技術開発部長の堀内和弘さんを中心に大学や県内企業からの要請に迅速かつ柔軟に応えてきた。現在はさらなる大出力化へ挑み、試作開発から超高速モーターの対向試験機立ち上げまで、手厚い技術支援を展開。来たる航空機電動化に向けて、まずは早期の事業化が見込まれる電動船向けインバーターの開発に注力し、次世代エネルギーの核心を担う挑戦を続けている。

産学連携と若手人材育成が支える開発力

高度な開発力を支える背景には、秋田大学や秋田県立大学との深い産学連携と、地道な人材育成の取組がある。「どんなに特殊で優れたモーターを作っても、適切な回し方が分からなければ意味がない」という開発現場の課題に対し、大学と協力し、高度な制御技術の確立を追求してきた。共同研究に取り組んできた学生がそのまま入社し、活躍している事例もある。

また、同社は独自の奨学金制度や進学支援を整え、高度な技術者を地域で末永く育て上げる持続可能な循環構造を構築してきた。現在、開発チームの半数近くを秋田大学出身の若手エンジニアが占め、次世代を担う存在として難度の高い制御技術の確立へ果敢に挑戦を続ける。

ものづくりと研究開発の双方を備えた圧倒的な現場力を武器に、自社で培った確かな技術と若い情熱を胸に実用化へ向けた検証を推進していく。



県の電動化事業の一環として試作されたインバーター。高度な制御技術で次世代モビリティを支える。



多種多様なライン保有により設計・開発から量産まで一貫して生産を行うことができる。



若手の技術者も多く活躍する同社。ものづくり精神を大切に技術開発はここから生まれている。